

ピーチライナー利便性向上実証実験の概要

(平成15年7月～17年6月)

背景

ピーチライナー(小牧市中心部と桃花台ニュータウン地区を結ぶ桃花台新交通の愛称)は桃花台ニュータウンの人口が計画人口の7割程度にとどまっていること、名古屋都心部までの鉄道系(名鉄小牧線と地下鉄名城線)が直結されておらず不便だったこと等から、利用者の低迷が続いている。

広域的な公共交通利用転換に関する実証実験の事業概要

上飯田線開業に併せた利便性向上策を補強し、更なる沿線住民の生活の足としての利便性を高めるサービスを導入しマイカーから公共交通への利用転換を図る。

(主な実験内容)

1. ピーチライナー利用客専用の駐車場の設置

桃花台線沿線においてピーチライナー定期券の所有者を対象とした専用の駐車場を設置する。

2. レンタサイクルサービスの拡充

小牧駅と桃花台センター駅で実施しているレンタサイクルサービス(各駅数台、利用時間は当日午後10時まで)を拡充し、各駅10台程度、利用時間終日(1泊2日も可)とし、帰宅の足としても利用できるようにする。

3. 買い物割引切符の導入

小牧駅と桃花台センター駅において、小牧市内のスーパー、小売店等において一定額以上の買い物等をされた方に運賃の割引きを行う。



実験の途中経過及び成果

利用客専用駐車場について、平成15年度は利用客が殆ど無かったことを踏まえ、平成16年度は利用料金を無料化したところ、確保する全駐車場が契約となった。利用者の殆どはピーチライナーの新規利用者であったため、公共交通への利用転換に一定の効果があったものと思慮される。

レンタサイクルサービスの拡充について、小牧駅においては設置当初から利用者が多く10台全てが貸し出し中となることもある。

桃花台センター駅においても1泊2日利用可能の利便性により月当たり70件程度の利用がある。

特に女性に好評で、男性の3倍近く利用がある。

買い物割引切符の導入について、平成15年度は商店街の協力が得られず実施に至らなかった。

商店側の負担を極力少なくするよう実施方法を見直したうえ協力要請を継続した結果、平成16年12月から実施することとなったが、一般に周知が行き届いていないため、利用件数は多い月で30件程度と低迷した。